

製品名	ウルトラTOP
種別	ウルトラUVプロテクト上塗り材保護用コート
荷姿	10kg、5kg
用途	外部壁面、屋根
適用基材	各種上塗り材（新生塗膜）

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地となる上塗り材に付着しているゴミ・ホコリ・異物は取り除いてください。 ②下地となる上塗り材の間隔時間を考慮し、日数をあけずに施工してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
保護コート	ウルトラTOP	10kg	0.08~0.10kg (100~125m ²)	ウルトラローラー	1	— ※最終養生24h	—
	無希釈	—					

注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 下地となる上塗り材の施工から日数が経過し完全硬化していると思われる場合はテスト施工を実施してください。
- ウルトラTOPは水性ですので造膜硬化中に降雨にあたると膨潤します。降雨が予想される場合は施工を避けてください。
- ウルトラTOPは気泡の発生しやすいローラー（ハイパイルローラー等）を使用すると気泡が消えずに白濁する場合がありますので、ウルトラローラーをご使用ください。
- ウルトラTOPは溝の深いサイディングや粗面等に塗料が溜まると白く白濁して硬化します。塗料だまりのないよう均一に施工してください。
- ウルトラTOPは基材への直接塗布は避けてください。
- 艶調整品は艶ムラにならないよう特に足場つなぎ部分などの塗り継ぎに注意し、面で切って施工してください。
- ウルトラTOPは透明ですが上塗り材塗膜の色調や仕上がりが変わって見える場合があります。試験施工等であらかじめご確認ください。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。（排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。）
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。